

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2008 年 12 月 11 日 (11.12.2008)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2008/149405 A1

(51) 国際特許分類:

H04M 1/00 (2006.01) G06F 21/24 (2006.01)
G06F 13/00 (2006.01) H04M 1/2745 (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2007/000608

(22) 国際出願日: 2007 年 6 月 6 日 (06.06.2007)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 富士通株式会社 (FUJITSU LIMITED) [JP/JP]; 〒2118588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 Kanagawa (JP).

(72) 発明者: および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 星 努 (HOSHI,

Tsutomu) [JP/JP]; 〒2118588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号富士通株式会社内 Kanagawa (JP).

(74) 代理人: 林恒徳, 外 (HAYASHI, Tsunenori et al.); 〒2220033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-9-5 第三東昇ビル 3 階 林・土井国際特許事務所 Kanagawa (JP).

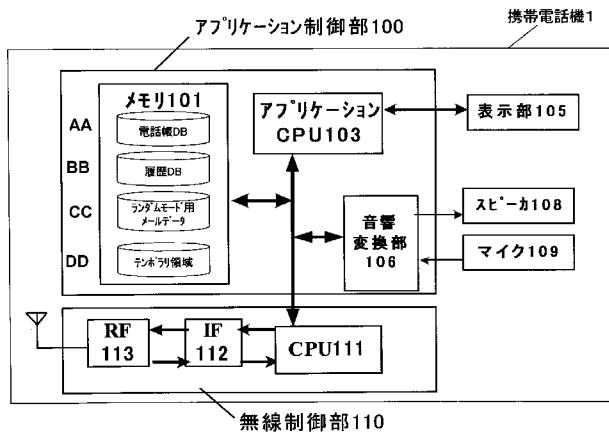
(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ,

[続葉有]

(54) Title: MOBILE TELEPHONE

(54) 発明の名称: 携帯電話機

[図 1]



1 MOBILE TELEPHONE
100 APPLICATION CONTROL UNIT
101 MEMORY
AA TELEPHONE DIRECTORY DATABASE
BB HISTORY DATABASE
CC RANDOM MODE MAIL DATA
DD TEMPORARY AREA
103 APPLICATION CPU
106 AUDIO CONVERTING UNIT
105 DISPLAY UNIT
108 SPEAKER
109 MICROPHONE
110 WIRELESS CONTROL UNIT

(57) Abstract: A mobile telephone includes a function that, without the least suspicion by any third party, prevents the third party from knowing a name of a person who gives or receives a telephone call and who receive an electronic mail. With respect to such a person who gives or receives a telephone call, a random mode is available for the mobile telephone to select a name at random from those registered in telephone directory data that has no problem even if the third party knows it and to substitute and display the name. Further, with respect to such a person who receives an electronic mail, in a random mode, the mobile telephone makes out a text of the electronic mail at random without the least suspicion by the third party in accordance with templates registered in advance, and the mobile telephone displays the text, its title (subject) registered in advance and a non-existing mail address.

(57) 要約: 携帯電話機は、第三者に怪しまれずに、電話の発着信及び電子メールの受信の相手の名前を第三者に知られないようにする機能として、電話の発着信に関しては、電話帳データに登録されている名前のうち、第三者に知られてもよい名前をランダムに選択して、置き換えて

表示するランダムモードを有する。また、電子メールの受信に関しては、ランダムモードにおいて、あらかじめ登録されたテンプレートに基づいて、第三者に不審におもわれない電子メールの本文をランダムに作成し、その本文とあら

[続葉有]



OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY,

添付公開書類:
— 国際調査報告書

明 細 書

携帯電話機

技術分野

[0001] 本発明は、電話の発着信及び電子メールの送受信における実際の相手の名前などを表示させないようにすることができる携帯電話機に関する。

背景技術

[0002] 近年、携帯電話機は一人一台の時代となり、最も身近なコミュニケーションツールとなってきた。それに伴い、携帯電話機には、電話番号、メールアドレス、画像、スケジュールなどさまざまな個人情報が保存されており、そのセキュリティ対策が不可欠となっている。セキュリティ対策の一つに、シークレットモードが知られている。

[0003] シークレットモードは、電話の発着信及び電子メールの送受信の相手の名前を第三者に知られたくないときに、電話の発着信時及び発着信の履歴画面に電話番号のみを表示し、また、電子メールの送受信時及び送受信の履歴画面にメールアドレスのみを表示し、電話番号又は電子メールアドレスに対応付けられて記憶されている相手の名前を表示しない機能である。

[0004] 携帯電話機は、相手の名前に関連づけて、相手の電話番号やメールアドレスなどの個人情報を電話帳データとして記憶しており、通常、電話帳データに登録されている電話番号の発着信やメールアドレスの送受信が行われる場合、その相手の名前が表示されるようになっている。

[0005] 一方、シークレットモード機能を有する携帯電話機においては、シークレットモードON状態において、第三者に知られたくない相手の電話帳データに付与された「シークレット属性」の設定をONにした後、シークレットモードOFF状態にすると、電話帳データには、「シークレット属性」がON設定された相手の電話帳データは存在しないかのように動作し、すなわち、電話帳データに登録されている電話番号の発着信又はメールアドレスの送受信であるにもかかわらず、その相手の名前が表示されずに、電話番号又はメ

ールアドレスを表示することで、電話の発着信及び電子メールの送受信の相手を第三者に秘匿することができる。すなわち、シークレットモードは、第三者に知られたくない相手の名前を「隠す」ようにするものである。

[0006] しかしながら、このシークレットモードには、次のような欠点がある。すなわち、シークレットモードでは、「シークレット属性」がON設定された相手が、電話帳に登録されていないかのように動作するだけなので、電話の発着信の場合、見知らぬ相手からの着信、又は見知らぬ相手への発信として履歴に残る。1回限りの発着信では、問題となりにくいですが、例えば、連続して同一の電話番号の発着信が続く場合、第三者に不審に思われる可能性がある。

[0007] また、電子メールの送受信の場合、電話の発着信の場合と同様の問題に加え、たとえ相手の名前が表示されなくとも、電子メールの本文を第三者に読まれることで、その内容によって、怪しまれる可能性はある。

[0008] また、上述のシークレットモード以外に、電話の発着信及び電子メールの送受信の相手の名前を第三者に知られないようにする機能として、下記特許文献1では、着信の際に、相手の名前を「仮の名前」に置き換えて表示することが提案されている。具体的には、携帯電話機が複数の電話番号を使用可能であって、いずれかの電話番号に着信があった場合、所定の条件の下で、相手の本来の名前ではなく、あらかじめ設定された仮の名前が画面に表示される。

[0009] また、下記特許文献2では、相手の名前を第三者に知られてもよい電子メールと知られたくない電子メールを別フォルダに格納し、相手の名前を知られたくない電子メールを格納したフォルダには、認証を行われることを条件にアクセスを許可することが開示されている。また、相手の名前を知られたくない電子メールの受信時には、電子メールの受信を第三者に気付かれないようにするために、受信報知を行わないようにすることも開示されている。

特許文献1：特開2005-184539号公報

特許文献2：特開2005-217961号公報

発明の開示

発明が解決しようとする課題

- [0010] しかしながら、上記特許文献1のように、「仮の名前」を用いる場合、どうしても「仮の名前」を創作する必要がある、不自然に思われない仮の名前を創作することは意外と困難である。また、第三者が、仮の名前が表示された履歴からリダイヤル発信してしまうと、意図しない相手につながってしまい、不都合が生じる。さらに、仮の名前が表示される場合であっても、比較的短期間の履歴に同一の名前が多数記録されていると、怪しまれる恐れがある。
- [0011] また、上記特許文献2のように、認証の必要なフォルダを設ける場合、認証画面が表示されるフォルダが存在するというだけで、第三者に怪しまれる。
- [0012] そこで、本発明の目的は、第三者に怪しまれずに、電話の発着信における実際の相手の名前を第三者に知られないようにすることができる携帯電話機及び電子メールの受信における実際の相手の名前を第三者に知られないようにすることができる電子端末装置を提供することにある。

課題を解決するための手段

- [0013] 上記目的を達成するための本発明の携帯電話機の第一の構成は、発信又は着信の動作を行うとき発信又は着信の相手の名前を表示可能な表示部を有する携帯電話機において、少なくとも第一の相手、第二の相手及び第三の相手の名前と電話番号、及び前記第一の相手への発信又は前記第一の相手からの着信の際に、前記第一の相手の名前を前記表示部に表示させない旨の第一の設定情報が登録されている電話帳データベースを格納する記憶部と、前記第一の相手への発信又は前記第一の相手からの着信の際に、前記電話帳データベースに登録されている前記第一の設定情報に従って、前記第一の相手の名前に代わって、前記電話帳データベースに登録されている前記第二の相手又は前記第三の相手のいずれかの名前を前記表示部に表示するように制御する制御部とを備えることを特徴とする。

- [0014] 本発明の携帯電話機の第二の構成は、上記第一の構成において、前記第一の相手への発信又は前記第一の相手からの着信の際に、前記第一の相手の名前に代わって、前記第二の相手の名前及び前記第三の相手の名前を表示可能である旨の第二の設定情報が前記電話帳データベースに登録されており、前記制御部は、前記第二の設定情報に基づいて、前記第二の相手又は前記第三の相手のいずれかの名前をランダムに選択することを特徴とする。
- [0015] 本発明の携帯電話機の第三の構成は、上記第二の構成において、前記制御部は、前記第二の相手への発信又は前記第二の相手からの着信の際に、前記第二の相手の名前を前記表示部に表示し、前記第三の相手への発信又は前記第三の相手からの着信の際に、前記第三の相手の名前を前記表示部に表示することを特徴とする。
- [0016] 本発明の携帯電話機の第四の構成は、上記第二の構成において、前記制御部は、前記第一の相手からの着信の際に、前記第二の相手又は前記第三の相手からの着信の際の着信音と異なる着信音を出力させるように制御することを特徴とする。
- [0017] 本発明の携帯電話機の第五の構成は、上記第一の構成において、前記第一の相手、前記第二の相手及び前記第三の相手の性別が前記電話帳ベースに登録されており、前記制御部は、前記第二の相手又は前記第三の相手のうち、前記第一の相手と同性の相手を選択することを特徴とする。
- [0018] 本発明の携帯電話機の第六の構成は、上記第一の構成において、前記制御部は、発信又は着信の履歴を前記表示部に表示する際に、前記第一の相手の名前に代わって、前記電話帳データベースに登録されている前記第二の相手又は前記第三の相手のいずれかの名前を前記表示部に表示するように制御することを特徴とする。
- [0019] 本発明の電子端末装置の構成は、受信した電子メールを表示可能な表示部を有する電子端末装置において、少なくとも第一の相手の名前とメールアドレス、及び前記第一の相手から送信された電子メールを受信の際に、前記第一の相手から送信された電子メールを前記表示部に表示させない旨の第一の

設定情報が登録されている電話帳データベースと、別の電子メールの本文を作成するための複数のパターンデータ及び当該別の電子メールのために用意されたメールアドレス及びタイトルを含む電子メール作成用データとを記憶する記憶部と、前記第一の相手から送信された電子メールを受信すると、前記電話帳データベースに登録されている前記第一の設定情報に従って、前記複数のパターンデータをランダムに選択して前記別の電子メールの本文を作成し、前記第一の相手から送信された電子メールに代わって、前記別の電子メールのメールアドレス、タイトル及び本文を前記表示部に表示するように制御する制御部とを備えることを特徴とする。

[0020] 上記構成の電子端末装置において、好ましくは、前記別の電子メールの本文は、前記電子メール作成用データによって作成された電子メールであって受信された電子メールではないことを表す符号を含むことを特徴とする。

[0021] 上記構成の電子端末装置において、好ましくは、前記制御部は、前記第一の相手から送信された電子メールを前記別の電子メールと関連づけて前記記憶部の第一の領域に記憶し、前記第一の相手から送信された電子メールに代わって前記表示部に表示された前記別の電子メールに対する削除指示に従って、前記第一の相手から送信された電子メールを認証を必要とする前記記憶部の第二の領域にコピーし、前記第一の領域から前記第一の相手から送信された電子メールを削除することを特徴とする。また、上記構成の電子端末装置は、携帯電話機であることを特徴とする。

発明の効果

[0022] 本発明によれば、電話の発着信相手を第三者に知られたくない場合に、あらかじめ登録された知られてもよい相手に置き換えて表示し、その履歴を記録する。これにより、仮の名前を創作して登録しておく必要はなく、また、第三者に不信感を抱かせない実在する人物の名前が表示されるので、第三者に怪しまれることもない。また、第三者に知られたくない相手と頻繁に通話する場合であっても、知られてもよい複数の相手にランダムに置き換えられるので、同一の相手と頻繁に通話しているように見せないことができる。

[0023] また、第三者に知られたくない受信電子メールを、ランダムに新規生成する別の電子メールに置き換えて表示し、その履歴を記録するので、第三者に怪しまれることがない。また、第三者に知られたくない受信電子メールを隠すための認証が必要な別の記憶領域を設ける必要もない。

図面の簡単な説明

[0024] [図1]本発明の実施の形態における携帯電話機のハードウェア構成例を示す図である。

[図2]本発明の実施の形態における携帯電話機に保存される電話帳データの構成例を示す図である。

[図3]本発明の実施の形態における携帯電話機のランダムモード時の着信動作フローチャートである。

[図4]本発明の実施の形態における携帯電話機の着信画面の例を示す図である。

[図5]本発明の実施の形態における携帯電話機に保存される着信履歴データの構成を示す図である。

[図6]本発明の実施の形態における携帯電話機の着信履歴表示動作フローチャートを示す図である。

[図7]本発明の実施の形態における携帯電話機の着信履歴画面の例である。

[図8]本発明の実施の形態における携帯電話機のランダムモード時の電子メール受信動作フローチャートである。

[図9]本発明の実施の形態における携帯電話機の受信メール表示画面の例を示す図である。

[図10]本発明の実施の形態における携帯電話機に保存される受信メールデータの構成を示す図である。

[図11]本発明の実施の形態における携帯電話機の受信履歴表示動作フローチャートを示す図である。

[図12]本発明の実施の形態における携帯電話機の着信履歴画面の例である。

符号の説明

[0025] 1：携帯電話機、100：アプリケーション制御部、101：メモリ、103：アプリケーションCPU、105：表示部、106：音響変換部、108：スピーカ、109：マイク、110：無線制御部

発明を実施するための最良の形態

[0026] 以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。しかしながら、かかる実施の形態例が、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

[0027] 本発明では、携帯電話機は、第三者に怪しまれずに、電話の発着信及び電子メールの送受信の相手の名前を第三者に知られないようにする機能として、電話の発着信に関しては、電話帳データに登録されている名前のうち、第三者に知られてもよい名前をランダムに選択して、置き換えて表示するランダムモードを有する。電話帳データに登録されている名前を用いるので、仮の名前を用いる必要はなく、また、表示される名前と電話番号も一致させることができる。さらに、第三者に知られてもよい名前を複数設定しておくことで、第三者に知られたくない相手から短期間に多数の電話の発着信又はメールの送受信が行われた場合でも、第三者に知られてもよい名前をランダムに選択して表示することで、履歴に同一の名前が連続して記録されることはなくなる。

[0028] また、電子メールの受信に関しては、ランダムモードにおいて、あらかじめ登録されたテンプレートに基づいて、第三者に不審におもわれない電子メールの本文をランダムに作成し、その本文とあらかじめ登録されたタイトル（件名）及び実在しないメールアドレスとを表示する。これにより、本文を読まれても、怪しまれず、また、認証を要するフォルダを作成する必要もない。以下、本発明の実施の形態について詳細に説明する。

[0029] 図1は、本発明の実施の形態における携帯電話機のハードウェア構成例を示す図である。携帯電話機1は、アプリケーション制御部100及び無線制御部110を備える。アプリケーション制御部100は、本発明に特徴的なランダムモードを実行するためのソフトウェア（コンピュータプログラム）メモリ101を有し、アプリケーションCPU103が当該ソフトウェアを

実行する。メモリ 101 は、後述するように、ランダムモードに対応する電話帳データベース、ランダムモード用メールデータ、送受信した電子メールや発着信に関する履歴データベース、テンポラリ領域などを有する。また、通話のためのスピーカ 108 やマイク 109 から入出力される音響信号と電気信号との変換を行う音響変換部 106 を備える。さらに、携帯電話機 1 は、本発明のランダムモードの動作設定メニュー及びランダムモードの動作に基づいて電話の発着信又は電子メールの送受信に関連する画面を表示する表示部 105 を備える。また、図示されないが、携帯電話機 1 は、脱着可能なメモリカードに対するデータの読み出し及び書き込み機能を有していてもよく、その場合、メモリカードリーダ・ライタ（メモリカード R/W）を備える。さらに、携帯電話機 1 は、カメラ、GPS、非接触 IC などの機能（図示せず）を備えていてもよい。

[0030] 無線制御部 110 は、電話、電子メールやインターネットなどの各種通信における無線信号の送受信を制御する CPU 111、インターフェース 112 及び無線信号送受信部（RF）113 を有する。

[0031] 図 2 は、本発明の実施の形態における携帯電話機に保存される電話帳データの構成例を示す図である。電話帳データは、電話帳データベースに格納される各相手毎の個々のデータである。図 2（a）に示すように、電話帳データは、相手毎に、（1）電話帳 ID、（2）名前、（3）電話番号、（4）メールアドレス、（5）シークレット属性、（6）ランダム属性、（7）性別の項目を含んで構成される。（1）電話帳 ID は、相手毎の電話帳データを識別する符号である。（2）名前は、個人の氏名であったり、会社や店の名前である。そして、相手の（4）電話番号及び（5）メールアドレスが登録される。

[0032] （6）シークレット属性は、背景技術で説明したように、ランダムモードのときに、当該相手の名前が表示されないようにするか否かの設定であり、シークレット属性を ON 設定することにより、当該相手の名前が表示されない（本発明では、代わりに、以下に説明するランダム属性が ON 設定の相手

の名前が表示される)。

[0033] (7) ランダム属性は、本発明に特徴的な設定項目であり、ランダム属性をON設定すると、ランダムモードのときに、シークレット属性がON設定の相手の名前に代わって、名前を表示してもよいか否かの設定である。すなわち、ランダム属性がON設定されると、シークレットモードのときに、例えばシークレット属性がON設定の相手から着信がある場合、この相手の名前に代わって、ランダム属性がON設定された名前がランダムに選択されて表示される。

[0034] なお、シークレット属性がON設定される場合は、ランダムモードのときに名前を表示することができないのでランダム属性をON設定にはできない。

[0035] ランダム属性がON設定される相手は、第三者に名前が知られてもよい相手であり、例えば、日頃から頻繁に連絡を取り合っている相手(親、兄弟、会社の同僚など)が想定される。

[0036] (8) 性別は、例えば、着信相手の性別と同一性の名前をランダム属性ON設定の名前から選択するために用いられる。ランダムモードのときに、シークレット属性がON設定の相手から着信があり、この相手が女性である場合、性別が女性であって、且つランダム属性ON設定された名前が選択されて表示される。受話口から漏れる声と画面表示される名前の性別が不一致であると、第三者に不信感を抱かせることになるからである。

[0037] なお、相手が個人である場合は、性別を登録できるが、会社や店などのように、性別を区別できない場合は、「その他」の設定とし、「その他」の設定は、発着信相手が男性、女性のどちらにも使用可能とする。

[0038] 図2(b)、(c)は、図2(a)の構成に基づいて具体的に設定された電話帳データの例である。

[0039] 図3は、本発明の実施の形態における携帯電話機のランダムモード時の着信動作フローチャートである。本実施の形態における携帯電話機の各動作は、携帯電話機1のアプリケーションCPU103が、メモリ101に格納さ

れた本発明に特徴的なランダムモードに対応するアプリケーションプログラムを実行することにより実現される。

[0040] アプリケーションCPU103は、電話着信を検知すると（S10）、着信の電話番号に基づいて電話帳データベースを検索して、着信相手を特定し（S11）、当該相手の電話帳データにおける「シークレット属性」がON設定になっているかどうか判定する（S12）。

[0041] 例えば、着信相手が、図2（b）に示す「田中花子」である場合、「田中花子」の電話帳データにおけるシークレット属性はON設定となっている。

[0042] 「シークレット属性」がON設定の場合、電話帳データベースを再度検索して、「ランダム属性」がON設定となっている複数の相手の電話帳データを抽出し、その中からランダムに一つ選択する（S13）。

[0043] 例えば、図2（c）に示す「山田裕子」の電話帳データにおけるランダム属性がON設定になっている場合、「山田裕子」が選択される。

[0044] そして、選択された相手の名前を表示するとともに（S14）、着信音の鳴動又はバイブレータの振動による着信動作を行う（S15）。

[0045] 図4は、本発明の実施の形態における携帯電話機の着信画面の例を示す図である。一例として、図4（a）では、実際の着信相手「田中花子」に代わって、「山田裕子」の名前が表示される。実際の着信相手の名前と異なる名前であって且つ電話帳データベースに登録されている別の相手の名前を表示して着信動作を行う場合、ユーザは、本当に「山田裕子」からの着信と誤認してしまう。従って、ランダムモードにおいて、実際の着信相手の名前と異なる名前であって且つ電話帳データベースに登録されている別の相手の名前を表示する場合、通常モードにおける着信動作と異なる着信動作を行うようにする。具体的には、着信音や振動態様を、通常モードとランダムモードとで異ならせる。なお、通常モードは、ランダムモードと異なり、常に実際の着信相手の名前が表示されるモードである。

[0046] ただし、着信動作を異ならせても、「山田裕子」からの着信ではないことは判断できても、「田中花子」からの着信であるかの判断まではできない。

そのため、あらかじめ設定された所定のキー操作により、着信動作中に、本来の着信相手の名前が表示されるような動作が可能であってもよい。所定のキー操作は、ユーザにより任意に設定可能であり、第三者に容易に推測できないようなキー操作であることが好ましい。

[0047] また、「ランダム属性」がON設定となっている複数の相手の電話帳データを抽出し、その中からランダムに一つ選択するので、仮に、別のタイミングで「田中花子」からの別の着信がある場合、電話帳データにおけるランダム属性がON設定となっている別の相手を選択される。例えば、図4（b）では、別の相手として、「山田裕子」と異なる「鈴木知子」が選択された場合の着信画面が示される。

[0048] 図3に戻り、通話の終了などによる着信の切断が判定されると（S16）、着信履歴データを着信履歴データベースに登録する（S17）。このとき、ランダムモードにより、実際の着信相手の名前と異なる名前であって且つ電話帳データベースに登録されている別の相手の名前が表示された場合、実際の着信相手と表示された相手とが関連づけられた着信履歴データが生成され、記録される。

[0049] ステップS12において、着信相手のシークレット属性がOFF設定の場合は、実際の着信相手の名前が表示される（S18）。

[0050] なお、ランダムモードでない状態で「田中花子」から着信があった場合は、着信動作においては、通常通り、本来の着信相手である「田中花子」の名前とその電話番号が表示されるが、着信履歴データを登録する際は、上記ステップS13と同様の処理により、ランダム属性がON設定となっている相手を選択し、実際の着信相手と選択された相手とが関連づけられた着信データが生成され、記録される。後述するように、ランダムモードにおいて着信履歴画面を表示する際に、着信動作時にはランダムモードがOFFのために本来の着信相手が表示されたが、その後、ランダムモードがON状態で着信履歴画面を表示する場合に、本来の着信相手に代わって、電話帳データベースに登録されている別の相手の名前を表示する必要があるからである。その

ために、着信動作時には、ランダムモードがOFFであっても、着信履歴データを生成する際は、ステップS 13の処理により、ランダム属性ON設定の相手をあらかじめ選択して登録しておく。

[0051] 図5は、本発明の実施の形態における携帯電話機に保存される着信履歴データの構成を示す図である。図5(a)に示すように、着信履歴データは、(1)着信履歴ID、(2)日時情報、(3)電話番号、(4)電話帳ID、(5)ランダム電話番号、(6)ランダム電話帳IDの項目を含んで構成される。(1)着信履歴IDは、着信を識別する符号である。(2)日時情報は、着信の日付及び時間であり、(3)電話番号は、本来の着信相手の電話番号であり、(4)電話帳IDは、本来の着信相手の電話帳データのIDである。具体的には、実際の着信相手が図2(b)に示す「田中花子」である場合、図2(b)の「田中花子」の電話番号及び電話帳IDが登録される。そして、(5)ランダム電話番号は、ランダムモードにより、実際の着信相手の名前と異なる名前が表示された場合、その表示された相手の電話番号であり、(6)ランダム電話帳IDは、その表示された相手の電話帳データのIDである。ランダムモードにより選択された相手が図2(c)に示す「山田裕子」である場合、「山田裕子」の電話番号及び電話帳IDが登録される。

[0052] 図5(b)、(c)は、図5(a)の構成に基づいて具体的に設定された着信履歴データの例である。図5(b)は、図3の例で示した着信相手「田中花子」からの着信履歴データであり、実際の着信相手「田中花子」の電話番号及び電話帳IDに加えて、ランダムモードにより選択された「山田裕子」の電話番号及び電話帳IDが登録されている。図5(c)は、シークレット属性がOFFに設定されている相手から着信があった場合の着信履歴データの例である。例えば、本来の着信相手が「山田裕子」の場合は、シークレット属性がOFF設定なので、ランダムモードであっても、本来の着信相手の名前が表示され、着信履歴データには、ランダム電話番号及びランダム電話帳IDの情報は記録されない。

[0053] 図6は、本発明の実施の形態における携帯電話機の着信履歴表示動作フローチャートを示す図である。ランダムモードがONであるかどうか判定し（S20）、ランダムモードがONの場合は、表示部105に表示する着信履歴データそれぞれについて、ランダム電話番号及びランダム電話帳IDが登録されているかどうか、さらに判定する（S21）。そして、ランダム電話番号及びランダム電話帳IDが登録されている場合は、ランダム電話帳IDに基づいて電話帳データベースを検索して、当該IDに対応する名前を抽出し、その名前とランダム電話番号に登録されている電話番号を表示する（S22）。一方、ランダム電話番号及びランダム電話帳IDが登録されていない場合は、本来の着信相手に対応する電話帳IDに基づいて電話帳データベースを検索して、当該IDに対応する名前を抽出し、その名前と本来の着信相手の電話番号を表示する（S23）。また、ランダムモードがOFFの場合も、本来の着信相手に対応する電話帳IDに基づいて電話帳データベースを検索して、当該IDに対応する名前を抽出し、その名前と本来の着信相手の電話番号を表示する（S23）。

[0054] 図7は、本発明の実施の形態における携帯電話機の着信履歴画面の例である。図7（a）は、ランダムモードOFFの場合の着信履歴画面の例であって、シークレット属性ON設定の相手（例えば、「田中花子」）から複数回連続した着信があった場合において、実際の着信相手の名前が表示される。図7（b）は、ランダムモードONの場合の図7（a）に対応する着信履歴画面の例であり、電話帳データベースに登録されているランダム属性ON設定の複数の相手から着信毎にランダムに表示する相手を選択されることから、同一の相手から連続して複数回着信があった場合でも、異なる相手から単発で着信があったように表示される。図7（b）に表示される各相手は、電話帳データに登録されており、ランダム属性はON設定（シークレット属性はOFF設定）となっている相手である。

[0055] 上述においては、電話の着信の場合について説明したが、電話の発信についても同様に適用可能である。ただし、発信時は、発信画面上に、実際の発

信相手の名前を表示してもかまわない。第三者に見られる心配がないからである。つづいて、本発明のランダムモードにおける電子メールの受信について説明する。

[0056] 図 8 は、本発明の実施の形態における携帯電話機のランダムモード時の電子メール受信動作フローチャートである。電子メールの受信に関しては、上述したランダムモードの動作を適用して、実際の送信元相手に代わって、電話帳データベースに登録された別の相手を送信元とする過去の受信メールを表示してしまうと、その内容に時間的なずれが発生する場合があります。本文の内容を第三者に読まれた際に、不都合が生じる。そこで、本発明の実施の形態におけるランダムモード時の電子メール受信においては、実際の送信元相手からの電子メールのメールアドレス及び本文に代わって、あらかじめ用意された実在しない少なくとも一つのメールアドレス、あらかじめ用意されたタイトル及び本文を含むランダムモード用メールデータを用いて新規にランダムモード用電子メールを生成し、生成したランダムモード用電子メールを表示するようにする。

[0057] 図 8 において、電子メールの受信が検知されると（S 3 0）、受信した電子メールの送信電子メールアドレスに基づいて電話帳データベースを検索して、送信相手を特定し（S 3 1）、当該相手の電話帳データにおける「シークレット属性」が ON 設定になっているかどうか判定する（S 3 2）。上記図 3 における動作と同様に、例えば、電子メールの送信相手が、図 2（b）に示す「田中花子」である場合、「田中花子」の電話帳データにおけるシークレット属性は ON 設定となっている。

[0058] 「シークレット属性」が ON 設定の場合、携帯電話機 1 のメモリ 1 0 1 に格納されたランダムモード用メールデータに基づいて、新規のランダムモード用電子メールを作成する（S 3 3）。ランダムモード用電子メールを作成するためのランダムモード用メールデータは、例えば、

[送信者メールアドレス] uranai（アットマーク）uranai.com

[件名] 今日の占い

[本文] 「××××（今日の日付）、○○○○（星座、血液型など）の△△△△（金運、仕事運、恋愛運など）は□□□□です。☆☆☆」

から構成されるテンプレートデータと、テンプレートデータにおける「○○○○」に入る星座名、血液型名、「△△△△」に入る「金運」、「仕事運」、「恋愛運」などの運勢の対象名、「□□□□」に入る「大吉」、「吉」、「凶」などの運勢の種類名などのパターンデータとから構成され、パターンデータをランダムに選択することで、本文が作成される。「☆☆☆」は、後述するように、受信した本来の電子メールではなく、テンプレートに従って新規に作成されたランダムメールであることを示す識別マークである。識別マーク及びその挿入位置はユーザが任意に設定可能であって、第三者に知られないようにすることで、ユーザ本人のみが、受信した実際の電子メールであるかどうかを判定することができるようになる。

[0059] ランダムモード用電子メールを作成するとともに、受信音の鳴動又はバイブレータの振動による受信通知動作を行う（S 3 4）。

[0060] 図 9 は、本発明の実施の形態における携帯電話機の受信メール表示画面の例を示す図である。ランダムモードにおいて、受信した電子メールの表示動作が行われると、一例として、実際の受信相手「田中花子」からの電子メールに代わって、図 9（a）に示すようなステップ S 3 3 で作成される「今日の占い」に関するランダムモード用電子メールが表示される。

[0061] 上述したパターンデータをランダムに組み合わせることで、シークレット属性が ON 設定の相手からの電子メールを受信する毎に、異なった内容の電子メールを作成、表示することができる。好ましくは、テンプレートデータも複数用意され、占いの電子メールに限らず、例えば、図 9（b）に示すような英単語を紹介する電子メールを作成するためのテンプレートが用意される。この場合、パターンデータは、英単語名である。こうして、テンプレートデータもランダムに選択され、選択されたテンプレートデータに対応するパターンデータもランダムに選択される。

[0062] なお、電子メールの受信に関しては、一度に複数の電子メールを受信する

ことがあるため、上述した着信電話のように、着信音を変更するだけでは、実際に受信した電子メールに代わって新規に作成した電子メールがどれであるか容易に判断できない可能性がある。そこで、着信音（又はバイブレータの振動）を変更する代わりに、電子メールの本文（例えば最後部分）に、あらかじめ指定された識別マーク（例えば、上述の「☆☆☆」や所定の文字列など）をテンプレートデータに埋め込んでおく。

[0063] 図 8 に戻り、受信した電子メール及び新規に作成されたランダムモード用電子メールは、受信メール履歴データベースに格納される（S 35）。このとき、ランダムモードにより、実際に受信した電子メールに代わりに表示される新規な電子メールが作成された場合、実際に受信した電子メールと新規に作成されたランダムモード用電子メールは同一の受信メール ID で管理される受信メール履歴データとして受信メール履歴データベースに格納される。

[0064] 図 10 は、本発明の実施の形態における携帯電話機に保存される受信メール履歴データの構成を示す図である。受信メールデータは、（1）メール ID、（2）日時情報、（3）メールアドレス、（4）タイトル（件名）、（5）本文、（6）ランダムメールアドレス、（7）ランダムタイトル、（8）ランダム本文の項目を含んで構成される。（1）メール ID は受信した電子メールを識別するための ID である。（2）日時情報は、受信の日付及び時間であり、（3）メールアドレス、（4）タイトル（件名）、（5）本文は、実際に受信した電子メールのメールアドレス、タイトル、本文のデータ（以下、まとめて本来データと称する）である。そして、（6）ランダムメールアドレス、（7）ランダムタイトル、（8）ランダム本文（以下まとめてランダムデータと称する）は、上述した図 8 のステップ 33 で作成されたランダムモード用電子メールのメールアドレス、タイトル、本文のデータである。

[0065] 図 11 は、本発明の実施の形態における携帯電話機の受信履歴表示動作フローチャートを示す図である。ランダムモードが ON であるかどうか判定し

(S 4 0)、ランダムモードがONの場合は、受信履歴画面に表示する各電子メールについて、ランダムデータが格納されているかどうか判定し(S 4 1)、ランダムデータが格納されている場合は、履歴一覧画面では、ランダムメールアドレスとランダムタイトルを表示し、その電子メールが選択された場合は、ランダム本文を表示する(S 4 2)。ランダムデータが格納されていない場合は、履歴一覧画面では、本来データのうちのメールアドレス及びタイトルを表示し、その電子メールが選択された場合は、本来データの本文を表示する(S 4 3)。また、ランダムモードがOFFの場合も、履歴一覧画面では、本来データのうちのメールアドレス及びタイトルを表示し、その電子メールが選択された場合は、本来データの本文を表示する(S 4 3)。

[0066] 図12は、本発明の実施の形態における携帯電話機の受信メール履歴画面の例である。図12(a)は、ランダムモードOFFの場合の受信メール履歴画面の例であって、シークレット属性ON設定の相手(例えば、「田中花子」)から電子メールを受信した場合において、実際の相手の名前が表示される。図12(b)は、ランダムモードONの場合の図12(a)に対応する受信メール履歴画面の例であり、シークレット属性ON設定の相手からの電子メールについては、実際の電子メールではなく、新規に作成された電子メールが表示される。

[0067] なお、ランダムモードでない状態で「田中花子」からの電子メールを受信があった場合は、受信動作においては、通常通り、本来の受信相手である「田中花子」の名前とその本文が表示されるが、受信メールデータに登録する際は、上記ステップS33と同様の処理により、ランダムモード用電子メール(ランダムデータ)を作成し、実際に受信した電子メールとランダムデータとを関連づけて、受信メール履歴データベースに格納する。上述した場合と同様に、ランダムモードにおいて受信メール履歴画面を表示する場合に、実際に受信した電子メールに代わって、ランダムモード用電子メールを表示する必要があるからである。

[0068] 実際に受信した電子メールに代わって表示するために生成されるランダムモード用電子メールは、第三者に不信感を抱かせないあたりさわりのない内容を表示するため、ユーザ（携帯電話機の所有者）がうっかり不要な電子メールと勘違いし削除してしまったり、当該電子メールを見た第三者が不要な電子メールと誤認して削除してしまう可能性があり得る。ランダムデータが含まれる受信メールデータ全体が削除されてしまうので、実際に受信した電子メールまでも削除されてしまう。

[0069] そこで、ランダムモード中にランダムデータとして表示された所定の電子メールを削除処理する場合は、携帯電話機 1 のメモリ 101 にあらかじめ用意されたテンポラリ領域に、当該所定の電子メールに対応する受信メールデータをコピーした後、受信メール履歴データベース内の当該受信メール履歴データを削除する。これにより、受信メール履歴データベースから誤って削除された場合でも、テンポラリ領域を参照することで、電子メールの確認及び復旧が可能となる。なお、テンポラリ領域へのアクセスは、所定の認証を必要とする。

[0070] 上述においては、電子メールの受信の場合について説明したが、電子メールの送信については、送信時に、受信時のように第三者に見られる心配はなく、また、上述したランダムデータによる電子メールは、受信専用メールであるので、送信時には用いることができない。従って、ランダムモード ON における送信履歴表示の際は、シークレット属性が ON 設定の相手に送信した電子メールの送信メールデータを表示しないようにすればよい。ランダムモード OFF では、シークレット属性が ON 設定の相手に送信した電子メールを含むすべての送信済み電子メールの送信メールデータを表示可能とする。

[0071] 上述では、携帯電話機による電話の発着信動作及び電子メールの送受信動作における本発明に特徴的なランダムモードの動作について説明したが、電子メールの送受信動作については、携帯電話機に限らず、据置型のパーソナルコンピュータ及び携帯可能なノート型コンピュータ、PDA などの電子端末

装置にも適用可能である。

産業上の利用可能性

[0072] 本発明は、電話の発着信及び電子メールの送受信が可能な携帯電話機などの電子端末装置に適用可能である。

請求の範囲

- [1] 発信又は着信の動作を行うとき発信又は着信の相手の名前を表示可能な表示部を有する携帯電話機において、
- 少なくとも第一の相手、第二の相手及び第三の相手の名前と電話番号、及び前記第一の相手への発信又は前記第一の相手からの着信の際に、前記第一の相手の名前を前記表示部に表示させない旨の第一の設定情報が登録されている電話帳データベースを格納する記憶部と、
- 前記第一の相手への発信又は前記第一の相手からの着信の際に、前記電話帳データベースに登録されている前記第一の設定情報に従って、前記第一の相手の名前に代わって、前記電話帳データベースに登録されている前記第二の相手又は前記第三の相手のいずれかの名前を前記表示部に表示するように制御する制御部とを備えることを特徴とする携帯電話機。
- [2] 請求項 1 において、
- 前記第一の相手への発信又は前記第一の相手からの着信の際に、前記第一の相手の名前に代わって、前記第二の相手の名前及び前記第三の相手の名前を表示可能である旨の第二の設定情報が前記電話帳データベースに登録されており、
- 前記制御部は、前記第二の設定情報に基づいて、前記第二の相手又は前記第三の相手のいずれかの名前をランダムに選択することを特徴とする携帯電話機。
- [3] 請求項 2 において、
- 前記制御部は、前記第二の相手への発信又は前記第二の相手からの着信の際に、前記第二の相手の名前を前記表示部に表示し、前記第三の相手への発信又は前記第三の相手からの着信の際に、前記第三の相手の名前を前記表示部に表示することを特徴とする携帯電話機。
- [4] 請求項 2 において、
- 前記制御部は、前記第一の相手からの着信の際に、前記第二の相手又は前記第三の相手からの着信の際の着信音と異なる着信音を出力させるように制

御することを特徴とする携帯電話機。

[5] 請求項 1 において、

前記第一の相手、前記第二の相手及び前記第三の相手の性別が前記電話帳ベースに登録されており、

前記制御部は、前記第二の相手又は前記第三の相手のうち、前記第一の相手と同性の相手を選択することを特徴とする携帯電話機。

[6] 請求項 1 において、

前記制御部は、発信又は着信の履歴を前記表示部に表示する際に、前記第一の相手の名前に代わって、前記電話帳データベースに登録されている前記第二の相手又は前記第三の相手のいずれかの名前を前記表示部に表示するように制御することを特徴とする携帯電話機。

[7] 受信した電子メールを表示可能な表示部を有する電子端末装置において、

少なくとも第一の相手の名前とメールアドレス、及び前記第一の相手から送信された電子メールを受信の際に、前記第一の相手から送信された電子メールを前記表示部に表示させない旨の第一の設定情報が登録されている電話帳データベースと、別の電子メールの本文を作成するための複数のパターンデータ及び当該別の電子メールのために用意されたメールアドレス及びタイトルを含む電子メール作成用データとを記憶する記憶部と、

前記第一の相手から送信された電子メールを受信すると、前記電話帳データベースに登録されている前記第一の設定情報に従って、前記複数のパターンデータをランダムに選択して前記別の電子メールの本文を作成し、前記第一の相手から送信された電子メールに代わって、前記別の電子メールのメールアドレス、タイトル及び本文を前記表示部に表示するように制御する制御部とを備えることを特徴とする電子端末装置。

[8] 請求項 7 において、

前記別の電子メールの本文は、前記電子メール作成用データによって作成された電子メールであって受信された電子メールではないことを表す符号を含むことを特徴とする電子端末装置。

[9] 請求項 7 おいて、

前記制御部は、前記第一の相手から送信された電子メールを前記別の電子メールと関連づけて前記記憶部の第一の領域に記憶し、

前記第一の相手から送信された電子メールに代わって前記表示部に表示された前記別の電子メールに対する削除指示に従って、前記第一の相手から送信された電子メールを認証を必要とする前記記憶部の第二の領域にコピーし、前記第一の領域から前記第一の相手から送信された電子メールを削除することを特徴とする電子端末装置。

[10] 請求項 7 において、

携帯電話機であることを特徴とする電子端末装置。

[11] 発信又は着信の動作を行うとき発信又は着信の相手の名前を表示可能な表示部を有する携帯電話機に搭載されるコンピュータにより実行されるコンピュータプログラムにおいて、

第一の相手の名前と電話番号とともに、第一の相手への発信又は前記第一の相手からの着信の際に前記第一の相手の名前を前記表示部に表示させない旨の第一の設定情報が前記携帯電話機の記憶部に格納される電話帳データベースに登録されているかどうか判定する判定処理と、

前記第一の設定情報が登録されている場合、前記第一の相手への発信又は前記第一の相手からの着信の際に、前記第一の相手の名前に代わって、前記電話帳データベースに登録されている第二の相手又は第三の相手のいずれかの名前を前記表示部に表示する表示処理とを前記コンピュータに実行させるコンピュータプログラム。

[12] 受信した電子メールを表示可能な表示部を有する電子端末装置に搭載されるコンピュータにより実行されるコンピュータプログラムにおいて、

第一の相手の名前とメールアドレスとともに、第一の相手から送信された電子メールの受信の際に前記第一の相手から送信された電子メールを前記表示部に表示させない旨の第一の設定情報が前記携帯電話機の記憶部に格納される電話帳データベースに登録されているかどうか判定する判定処理と、

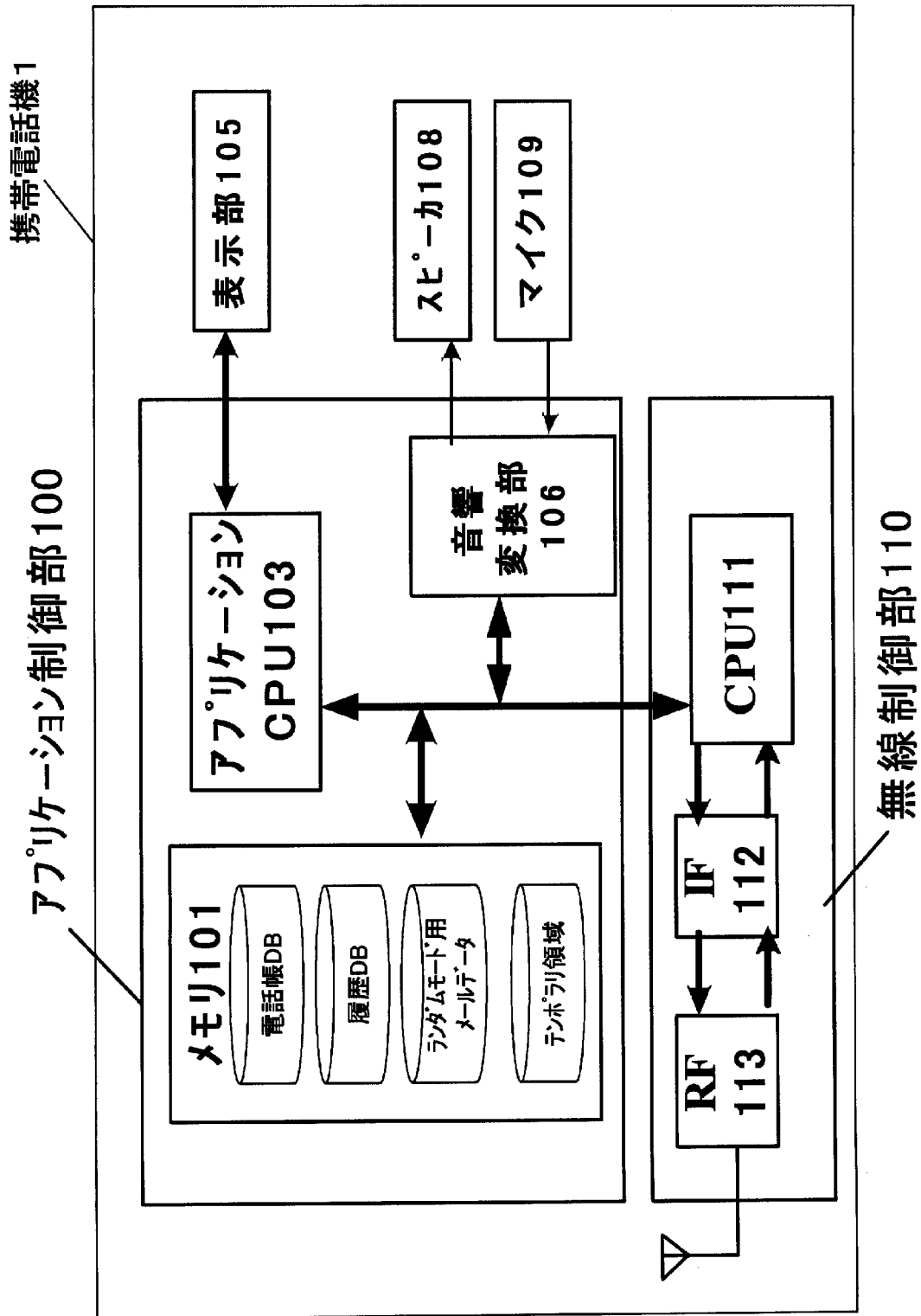
前記第一の設定情報が登録されている場合、前記第一の相手から送信された電子メールの受信の際に、前記携帯電話機の記憶部に格納される別の電子メールの本文を作成するための複数のパターンデータをランダムに選択して前記別の電子メールの本文を作成し、さらに、前記携帯電話機の記憶部に格納される前記別の電子メールのために用意されたメールアドレス及びタイトルを用いて、前記第一の相手から送信された電子メールに代わって、前記別の電子メールのメールアドレス、タイトル及び本文を前記表示部に表示する表示処理とを前記コンピュータに実行させるコンピュータプログラム。

[13] 受信した電子メールを表示可能な表示部を有する電子端末装置に搭載されるコンピュータにより実行される表示制御方法において、

第一の相手の名前とメールアドレスとともに、第一の相手から送信された電子メールの受信の際に前記第一の相手から送信された電子メールを前記表示部に表示させない旨の第一の設定情報が前記携帯電話機の記憶部に格納される電話帳データベースに登録されているかどうか判定する判定ステップと、

前記第一の設定情報が登録されている場合、前記第一の相手から送信された電子メールの受信の際に、前記携帯電話機の記憶部に格納される別の電子メールの本文を作成するための複数のパターンデータをランダムに選択して前記別の電子メールの本文を作成し、さらに、前記携帯電話機の記憶部に格納される前記別の電子メールのために用意されたメールアドレス及びタイトルを用いて、前記第一の相手から送信された電子メールに代わって、前記別の電子メールのメールアドレス、タイトル及び本文を前記表示部に表示する表示ステップとを備えることを特徴とする表示制御方法。

[図1]



[図2]

電話帳ID
氏名
電話番号
メールアドレス
シークレット属性(ON or OFF)
ランダム属性(ON or OFF)
(シークレット属性がONのときはON設定不可)
性別
:
:

(a)

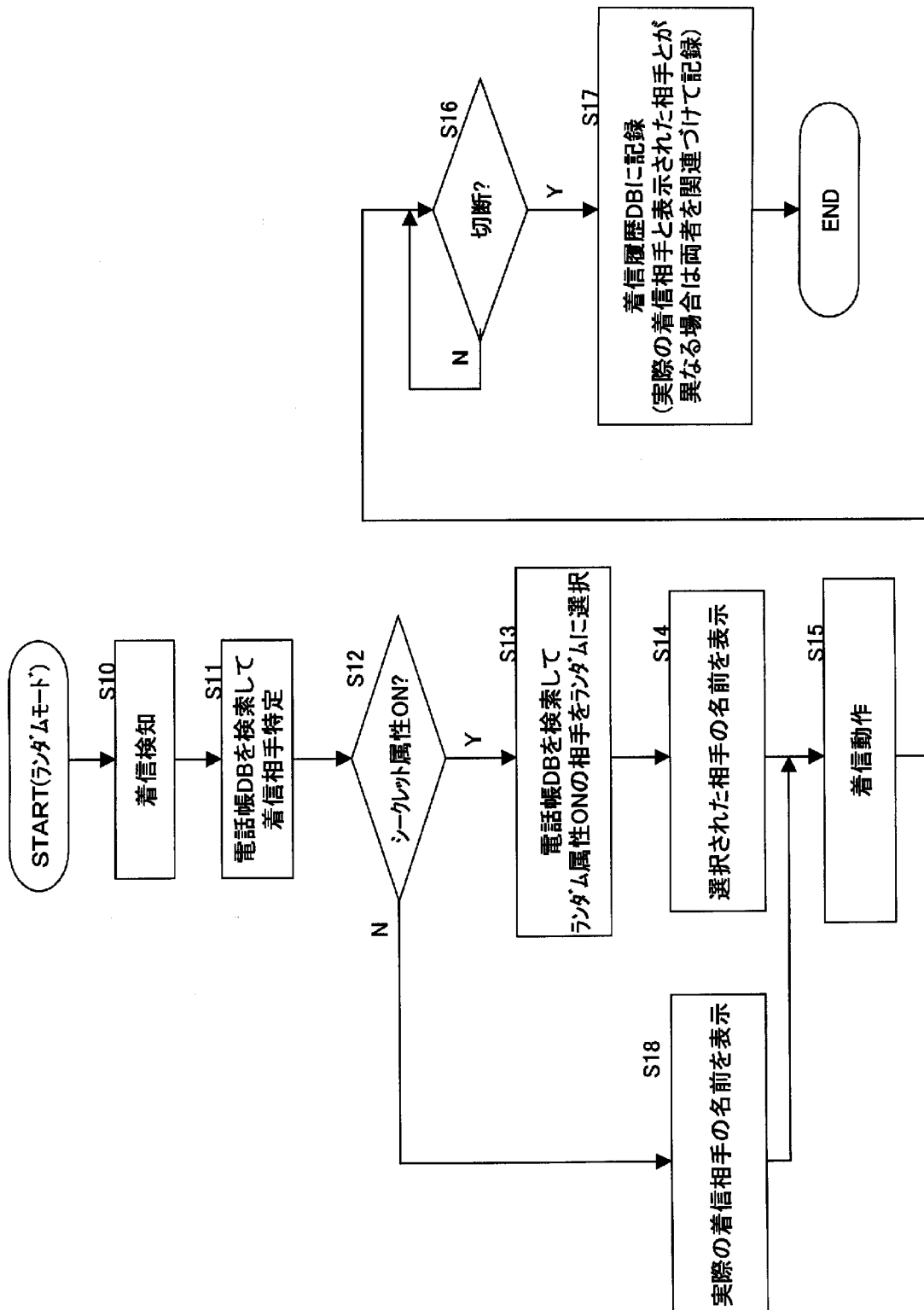
10
田中花子
090-1111-2222
hanako@x x x.oo
シークレット属性ON
ランダム属性OFF
女
:
:

(b)

30
山田裕子
090-5555-4444
hiroko@△△△.□□
シークレット属性OFF
ランダム属性ON
女
:
:

(c)

[図3]



[図4]

	12:00
着信中	
鈴木知子 09077776666	
MENU	

(b)別のタイミングで田中花子からの着信がある場合

	12:00
着信中	
山田裕子 09055554444	
MENU	

(a)実際の着信相手が田中花子である場合

[図5]

着信履歴ID	1
日時情報	2007-5-1 12:00
電話番号	09055554444
電話帳ID	10
ランダム電話番号	09077776666
ランダム電話帳ID	30

(b)

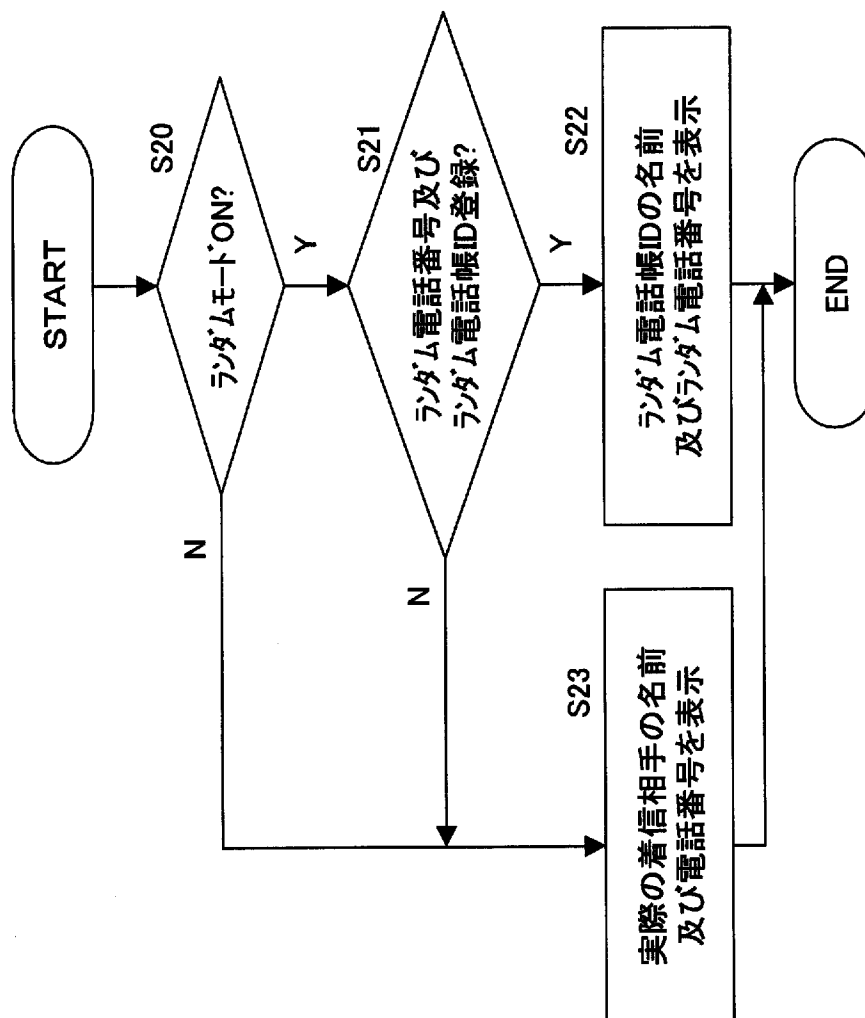
着信履歴ID	1
日時情報	2007-5-1 12:10
電話番号	09077776666
電話帳ID	10
ランダム電話番号	-
ランダム電話帳ID	-

(c)

着信履歴ID
日時情報
電話番号
電話帳ID
ランダム電話番号
ランダム電話帳ID
:
:
:

(a)

[図6]



[図7]

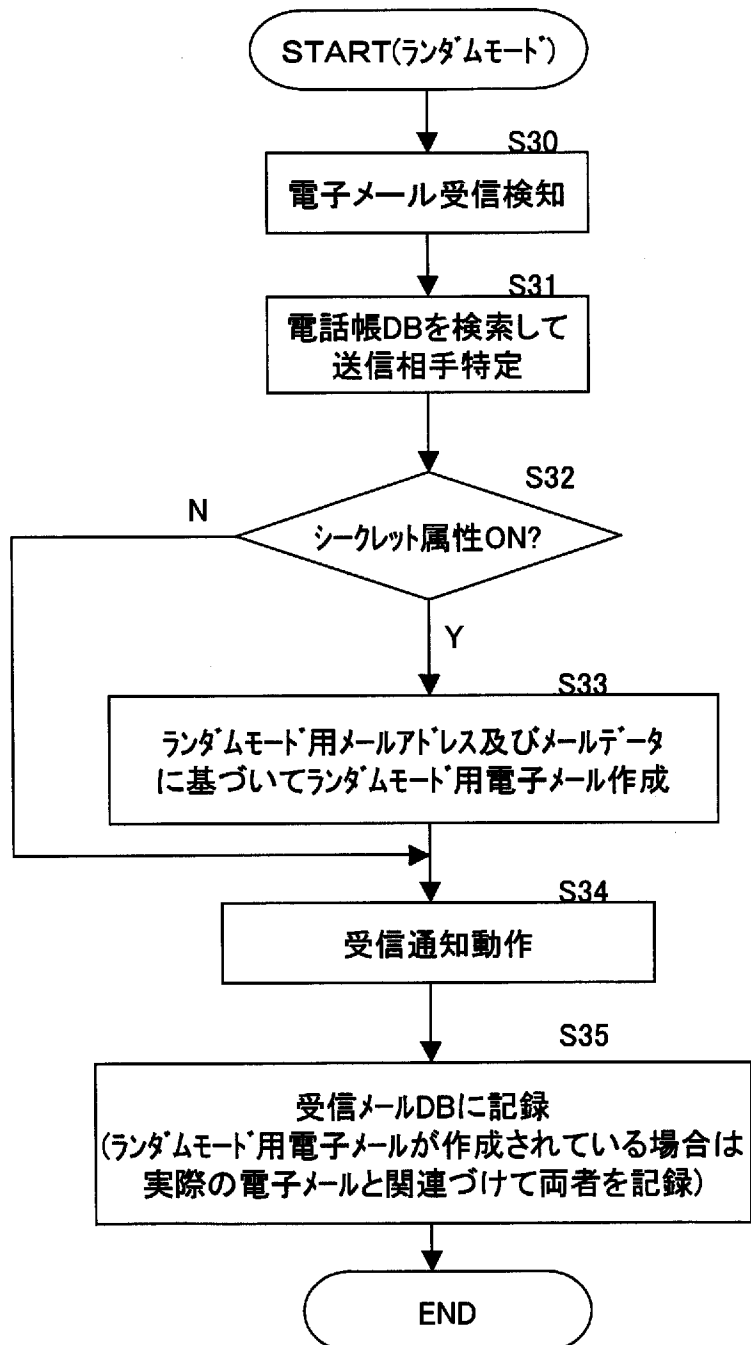
着信履歴
01/01(日) 02:33 山田裕子
01/01(日) 02:15 鈴木知子
01/01(日) 01:52 斎藤正子
01/01(日) 01:21 松本好子
MENU

(a)ランダムモードON

着信履歴
01/01(日) 02:33 田中花子
01/01(日) 02:15 田中花子
01/01(日) 01:52 田中花子
01/01(日) 01:21 田中花子
MENU

(b)ランダムモードOFF

[図8]



[図9]

受信メール	
日時:07/01/01 03:16	
From: eitanngo@eitanngo.com	
件名:今日の英単語	
今日の英単語はmobileです。 ☆☆☆	
MENU	返信

(b)

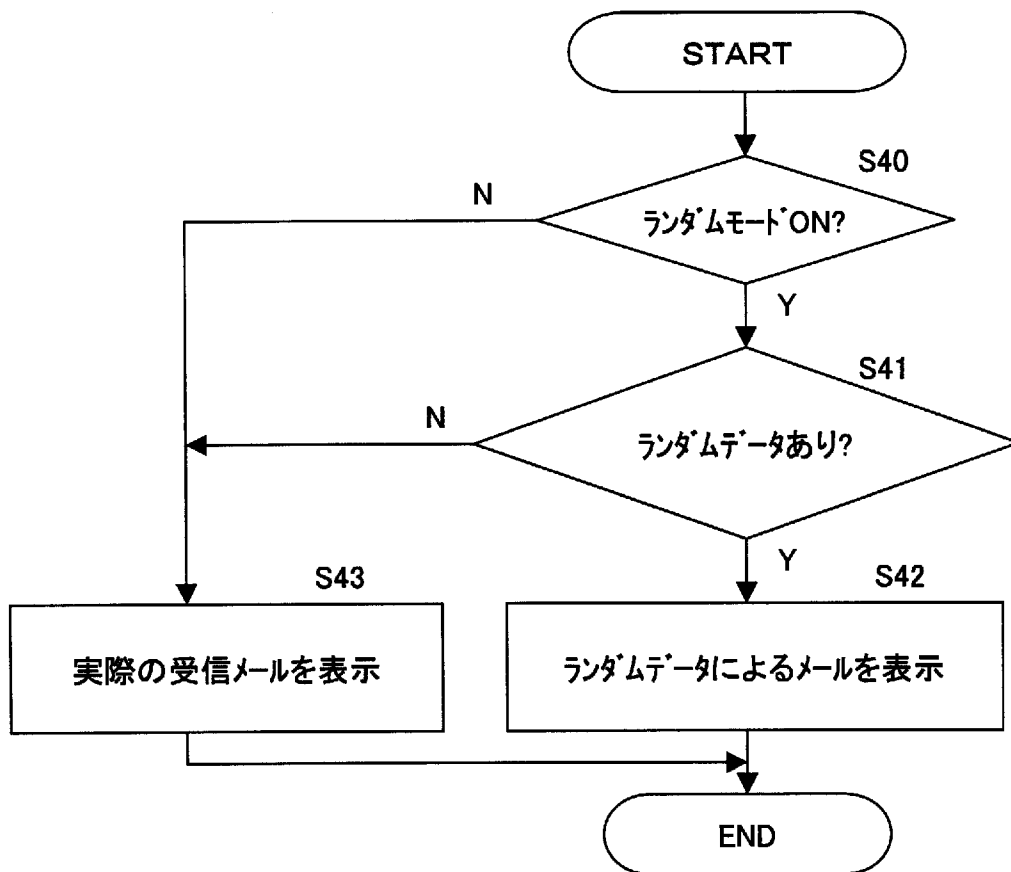
受信メール	
日時:07/01/01 03:16	
From: uranai@uranai.com	
件名:今日の占い	
2007/01/01 A型の金運は 大吉です。☆☆☆	
MENU	返信

(a)

[図10]

メールID
日時情報
メールアドレス
タイトル
本文
ランダムメールアドレス
ランダムタイトル
ランダム本文
:

[図11]



[図12]

受信履歴
01/01(日) 14:33 uranai@uranai. 件名:今日の占い
01/01(日) 14:15 鈴木知子 件名:ありがとうございます
01/01(日) 08:52 eitanngo@eitan 件名:今日の英単語
01/01(日) 08:21 松本好子 件名:明日の件
MENU

(a)ランダムモードON

受信履歴
01/01(日) 14:33 田中花子 件名:こんにちは
01/01(日) 14:15 鈴木知子 件名:ありがとうございます
01/01(日) 08:52 田中花子 件名:おはようございます
01/01(日) 08:21 松本好子 件名:明日の件
MENU

(b)ランダムモードOFF

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2007/000608

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

H04M1/00(2006.01) i, G06F13/00(2006.01) i, G06F21/24(2006.01) i, H04M1/2745(2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

H04M1/00, H04M1/24-1/62, H04M1/66-1/82, G06F21/24

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2007

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2007 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2007

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	JP 2002-33819 A (Hitachi Kokusai Electric Inc.), 31 January, 2002 (31.01.02), Par. Nos. [0019] to [0032] (Family: none)	1-3, 6, 11 4-5
A	JP 2005-20204 A (Fujitsu Ltd.), 20 January, 2005 (20.01.05), Par. Nos. [0026] to [0027] (Family: none)	1-6, 11

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
27 August, 2007 (27.08.07)Date of mailing of the international search report
11 September, 2007 (11.09.07)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2007/000608

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:

2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:

3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

The inventions in claims 1-6 and 11 are directed to a mobile telephone in which, when a call is given to a first party or a call is received from the first party, based on first set information registered in a telephone database, either a second party's name or a third party's name registered in the telephone database is displayed in place of the first party's name on a display unit.

(continued to extra sheet)

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
4. ☒ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.: 1-6 and 11.

Remark on Protest
the

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, payment of a protest fee.
- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2007/000608

Continuation of Box No.III of continuation of first sheet (2)

The inventions in claims 7-10 and 12-13 are directed to an electronic terminal device in which, when an electronic mail is received from a first party, based on first set information registered in a telephone database, a plurality of pattern data are selected at random to make out a separate electronic mail, a mail address, a title and a text of the separate electronic mail are displayed in place of the electronic mail transmitted from the first party on a display unit.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. H04M1/00(2006.01)i, G06F13/00(2006.01)i, G06F21/24(2006.01)i, H04M1/2745(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. H04M1/00, H04M1/24-1/62, H04M 1/66-1/82, G06F21/24

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 0 7 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 0 7 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 0 7 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X A	JP 2002-33819 A (株式会社日立国際電気) 2002.01.31, 0019-0032 ファミリー無し	1-3, 6, 11 4-5
A	JP 2005-20204 A (富士通株式会社) 2005.01.20, 0026-0027 ファミリー無し	1-6, 11

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 7 . 0 8 . 2 0 0 7

国際調査報告の発送日

1 1 . 0 9 . 2 0 0 7

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官 (権限のある職員)

小林 勝広

5 G

9 0 6 1

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 2 6

第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見（第1ページの2の続き）

法第8条第3項（PCT17条(2)(a)）の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. ☐ 請求の範囲 _____ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、
2. ☐ 請求の範囲 _____ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. ☐ 請求の範囲 _____ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見（第1ページの3の続き）

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるところの国際調査機関は認めた。

請求の範囲1-6、11に係る発明は、第一の相手への発信又は第一の相手からの着信の際に、電話帳データベースに登録されている第一の設定情報に従って、第一の相手の名前に代わって、電話帳データベースに登録されている第二の相手又は第三の相手のいずれかの名前を表示部に表示する携帯電話機の発明である。

一方、請求の範囲7-10、12-13に係る発明は、第一の相手から送信された電子メールを受信すると、電話帳データベースに登録されている第一の設定情報に従って、複数のパターンデータをランダムに選択して別の電子メールの本文を作成し、第一の相手から送信された電子メールに代わって、別の電子メールのメールアドレス、タイトル及び本文を表示部に表示する電子端末装置の発明である。

1. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. ☐ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. ☒ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

1-6, 11

追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料及び、該当する場合には、異議申立手数料の納付と共に、出願人から異議申立てがあった。
- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあったが、異議申立手数料が納付命令書に示した期間内に支払われなかった。
- ☐ 追加調査手数料の納付を伴う異議申立てがなかった。